

令和4年度（2022年度） 事業報告書



社会福祉法人 敬天会



※各種認定事業所

～ 各種認定 ～



認定機関：全国社会保険労務士連合会

認定日：令和4年3月8日認定

内容：就業規則等の関連規程の整備状況や労働時間管理、休憩、休日、労使協定等、所定の項目について社会保険労務士の確認を受け、経営労務診断基準に基づき適正と認められました。



認定機関：厚生労働省

認定日：令和3年12月24日認定

内容：障害者の雇用の促進及び安定に関する取り組みの実施状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度。認定基準 50 点中 20 点以上の獲得、法定雇用率以上の雇用など。



認定機関：厚生労働省

認定日：平成30年3月4日認定

内容：若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度。直近3事業年度新卒者の離職率20%以下、年休取得率平均70%以上又は平均10日以上など。



認定機関：厚生労働省

認定日：平成30年6月12日認定

内容：次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画を策定し、目標を達成するなどの要件を満たした企業を「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定する制度。育児休業取得率100%、男性育児休業取得者誕生など。

令和4年度(2022年度) — 事業報告書 目次 —

経営の総括	1	～	1
I 法人本部及び総務課	2	～	13
II 障害者支援施設さちかぜ（施設入所支援・生活介護事業）	14	～	15
III 障害者支援施設さちかぜ（短期入所・日中一時支援事業）	15	～	15
IV 満天ハイツ（共同生活援助事業）	16	～	16
V グループホーム晴町（共同生活援助事業）	17	～	17
VI 共生型地域自立支援センターたたえ	18	～	18
VII クリエイティブ 林 ートくじら（児童発達支援・放課後等デイサービス）	19	～	20
VIII kakeru（就労継続支援B型・就労移行）	21	～	22
IX hopen（就労継続支援B型）	23	～	23
X ミニティアペンぎん（児童発達支援・放課後等デイサービス等）	24	～	24
XI 生活支援センターさちかぜ（相談支援事業）	25	～	27
XII 保健看護分野	28	～	30

経営の総括

令和4年度は、国・県内において新型コロナ感染の波が繰り返される中の経営となった。この情勢の中で、4年度の経営目標は、先ず“利用者、職員の安全第一”を原則におき、

- ① ウイズ、アフターコロナを見据えた共存・共生の推進
- ② 高齢化に伴う多様な福祉ニーズへの対応及び地域医療機関等との連携
- ③ 人材の確保、定着、育成の推進
- ④ 経営の安定充実及び働きやすい職場環境づくり

の4点を掲げ、推進した。

経営面では、法人の自主的な利用受入れ調整、通所利用者の利用控え、職員の感染による長期的な出勤調整の実施等々、日常の運営への影響があったもののコロナ禍3年間の試練を乗り越えた経験と職場での連携・柔軟対応の重要性を相互確認する貴重な年となった。一方で、新たなニーズ対応とサービス提供システムの構築、利用率・利用定員の向上、支援スキルの向上を図り、更に始良圏域を中心に提供サービス事業全般の広報を進めた。

この結果、地域からの利用意欲の拡大と利用率向上に繋がったこと、法人全体で電力消費節減に努め、県のコロナ感染予防対策費（物品購入補填金）及び県・市による物価高騰対策助成等により、対前年比で収支改善が図られ、概ね事業全般について順調経営を維持した。

（※推移及び収支の詳細については、別記報告。）

コロナ対応については、年度初めから、第6-7-8の計3波に対し、延べ10か月間の対応継続となった。特に、12月の第8波においては、法人内事業所において感染拡大のピークを経験することとなったが、地域の医療・保健機関の支援と職員の努力により、支援活動を継続し、ピークアウトすることができた。

あらためて、最前線で地域の皆様の尊い命と健康を守っていただいている医療・保健機関や法人の役職員・利用者やご家族・関係者の皆様に感謝と敬意を申し上げます。

社会福祉法人敬天会 経営理念

あなたの人権と尊厳を大切にします
誰もが支え合う地域の力となれるよう努めます
あたたかい社会づくりに努力と研鑽を続けます
活力と透明性のある経営を目指します

I 法人本部及び総務課

1 推進目標

- (1) 団塊の世代が 75 歳を迎え、介護費用の増大や地域の担い手不足が想定される「2025 年問題」、2040 年に高齢者人口がピークに達するとされる「2040 年問題」などにより、今後 20 年で大幅な人口減少に伴い、生産年齢人口が約 1,300 万人減少する事が見込まれている。福祉人材の確保は、地域性も関係するが年々困難になっていく事が考えられ、持続可能な事業所運営のために、働く職員の賃金、福利厚生など職員処遇の改善や向上、福祉人材の確保・育成・定着の取り組みを継続する。

推進目標（1）に対する評価

①福祉人材の確保・定着について

- ・ハローワークや法人 HP、SNS 等で採用活動を行った。
- ・ユースエール、くるみん等、厚生労働省各種認定の更新を行った。
- ・採用者状況 新卒者 1 名を含む 20 名の職員（正職員 6 名/契約職員 14 名）採用
- ・離職者状況 離職率 17.7%（R3 年度 7.5%）
離職者 27 名（正職員 7 名/契約職員 20 名）
内 訳 10 年以上 3 名、5 年以上 2 名、3 年以上 3 名、3 年未満 19 名

②職員構成及び職員処遇については別紙 1 参照。

③福祉人材の育成については別紙 2 参照。

④昨年度よりも離職者が増加した。なかでも契約職員の割合が多く、理由の多くは単年度契約であること、新型コロナウイルス感染症の対応を複数回経験したことによる肉体的・精神的に疲弊したことなどが考えられる。働きやすさの取り組みから適宜人材確保が行えていることで、各事業所の法律で定められている職員配置基準を下回ることなく運営できているため、推進目標(1)は概ね達成できたと考える。

- (2) 令和 4 年度から hopen（ホープン、就労 B 型）、クリエイティブサポートくじら（児童発達支援）を開設する。昨年度の GH 晴町、コミュニティケアペンギん開設に続き、ご利用者の身体状況に応じた生活・訓練環境の改善や未就学児への支援体制を整備し、法人全体として年齢や身体状況を問わずご利用できる充実したサービス提供体制が整備された。人員や設備等の資産を最大限に活用し、経営の安定化を図る。

推進目標（2）に対する評価

- ・令和 4 年度は事業所内での新型コロナウイルス感染症が複数回発生した影響から、さちかぜの定員充足に対する活動が制限された。その状況下においても定員充足計画に沿って体験入所を受け入れ、新規入所に繋げている。
- その他、SNS 等で活動状況を発信し「見える化」を図り、事業所の雰囲気や伝わるように工夫した。また、営業チームを編成、事業所等訪問し情報提供を行い、拠点となる病院や事業所との繋がりを強化、感染防止対策を講じながら見学や体験・実習を受入れるなど、定員充足に努めたことにより経営の安定に繋がっているため、推進目標(2)は概ね達成された。別紙 3 参照。

- (3) 社会資源となる社会福祉法人の役割として、多様な地域生活者のニーズに対応することが求められる。関係機関との連携を図ることはもちろん、地域社会における支え合いの関係性をあらためて見つめなおし、「寄り添い」や「伴走」と言われる支援に繋がられる取り組みを推進する。

推進目標（3）に対する評価

- ・さちかぜ等居住施設では、保護者の入院等に伴って、自宅で過ごすことが困難なご利用者を一定期間受け入れた他、地域の困難事例の方を緊急的に受け入れ、退居後の生活の安定に繋がられており、推進目標(3)は概ね達成されたと考える。

2 取り組み事項

(1) 賃金改善及び福利厚生の上

令和4年2月から始まった福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金を原資とした「処遇改善手当」の創設。定期昇給とは別に、毎月の給与に手当として月額6,000円支給する。(規則による)また、労災とは別で法人が職員に対してかけている業務災害総合保険に「がん治療」の特約を追加し、治療と仕事の両立を支援する。働き続けることができる環境を整え、職員処遇の向上を図る。

取り組み事項(1)に対する評価

- ・処遇改善手当、月額6,000円を支給。令和5年度も継続的に支給する。
- ・福利厚生の一環として、業務災害総合保険に「がん治療」の特約を追加した。
- ・人材確保や定着のため、働く職員の給与水準の向上は経営状況に応じて継続的に推進する。病気等の治療をしながら働ける時代になってきているため、選択肢として「働き続ける」が選べるように福利厚生等の制度を充実させていく。

(2) プラチナくるみん認定取得

くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が、一定の要件を満たした場合には優良な「子育てサポート」企業として厚生労働大臣から特例認定(プラチナくるみん認定)を受けることができるため、計画的な取り組みと認定取得を目指す。

また、各種外部認定を活用し、職業面談会や介護福祉士実務者研修を行っている企業などに対して事業所説明会や職場体験の機会を創出し、福祉人材の確保に繋げる。

取り組み事項(2)に対する評価

- ・育児・介護休業法改正に備え、厚生労働省より委託を受けている専門家を派遣してもらい、法改正に伴う規則変更や法改正に関する知識を深めた。
- ・育児休業取得者延べ13名(男性延べ8名/女性5名)誕生した。
- ・次世代・女性活躍推進法一体型行動計画の第3期(2020-2021)を1年延長し、所定外労働の削減と有給取得率の増加を目標に各課で取り組み、前年度比で所定時間外労働削減の達成と有給取得率向上を達成したため、令和5年度中に特例認定(プラチナくるみん認定)を申請する。
- ・鹿児島労働局や鹿児島県社会福祉協議会主催の就職面談会に参加、各種認定をアピールするかたちで面談ブースが設けられているなど、会場内でも同業他社との差別化が図れ、中途採用や令和5年度新卒者の採用に繋がった。

(3) 内部・外部研修受講機会の他、eラーニングを活用した人材の育成

さちかぜ実務者研修教室を運営する株式会社日本教育クリエイトが提供している医療・介護に特化したeラーニング「サクラボ」を導入、接遇マナーや介護技術など500以上のコンテンツが用意されており、インターネット環境があればいつでもどこでも視聴ができる。これまで、「勤務等スケジュールが合わず研修に参加できない」などの声もあったため、各事業所のミーティング時や自己研鑽のツールとして活用する。

取り組み事項(3)に対する評価

- ・各事業所のミーティング時に「サクラボ」を活用して虐待防止・人権擁護等の研修を受講。これまで、都合がつかずに研修を受ける事ができなかった職員もいつでも同じ研修内容を受講できる環境が整い、サービス提供の質の標準化を図ることができた。
- また、新型コロナウイルスの濃厚接触者などで休まざるを得なくなった職員も自己研鑽のツールとして自宅で活用した。

(4) 虐待防止及び身体拘束等の適正化にかかる取組の義務化

令和3年度制度改正に伴う運営基準の見直しにより、虐待防止の更なる推進と身体拘束等の適正化の推進のため、虐待防止委員会の定期的な開催と検討結果の職員への周知徹底、虐待防止研修の実施などが令和4年度から義務化された。虐待防止が発生する背景には、障害の特性に対する知識や理解の不足などがあるといわれている。職場内でサービス提供方法の異変に気付いても声にだせず、そのままにしてしまうケースもあるため、定期的な内部研修等をとおして支援の在り方を共有し、チームで虐待防止等に取り組む意識を醸成する。

取組み事項(4)に対する評価

- ・法人全体で8月と2月に「虐待防止人権擁護月間」を掲げ、取組みを強化した。
- ・各事業所に投函箱を設置、人に伝えにくい内容も発信できる環境を整えた。
- ・毎年、職員に対して「虐待防止・人権擁護アンケート調査」を実施。抱えている課題の抽出や客観的な視点からセルフチェックを行い、未然に防止する取組みを行っている。
- ・令和4年度から、各事業所のサービス管理責任者による虐待防止・人権擁護研修を実施。虐待や不適切な支援だと判断できる基盤となる人権について理解を深めた。
- ・各事業所及び法人で委員会を開催し、マニュアルをもとに支援方法や対応を統一するなど、情報共有を行った。

(5) 雇用形態、定年年齢の引き上げ及び人事考課制度の見直しを検討。

正職員、契約職員の他に準正職員の検討を進め、契約職員でフルタイム勤務をしている職員の待遇改善や働き方の選択肢を広げる。また、定年年齢の引き上げの検討の他、人事考課制度運用開始から5年経過した。制度内容の見直しを検討し、生涯働き続けられる職場づくりを引き継ぎ推進する。

取組み事項(5)に対する評価

- ・令和4年10月から短時間労働者に対する健康保険・厚生年金保険の適用拡大により、当法人も特定適用事業所に該当するため、契約職員へ労働条件を複数提示し、シミュレーションを行い、働き方の選択肢を広げられるように努めた。
- ・人件費上昇分の原資確保の課題や生産年齢人口の減少から夜勤業務の担い手の確保など、経営状況に限らず社会的な問題も含まれているため、改定までには時間が必要な課題である。
- ・雇用形態の多様化、定年年齢の引き上げについては、情報収集を行っている。

(6) 業務継続計画(BCP)、中長期経営計画の策定

令和6年度から、障害福祉サービス事業所に対してBCPの作成が義務付けられる。大規模震災や水害が起きたとしても、継続的に障害福祉サービスが提供できるように体制を整える。また、敬天会のビジョンである経営理念、経営方針等の刷新から4年が経過した。刷新後の振り返りを実施するとともに、これからの敬天会の姿と社会福祉法人を取り巻く環境等をイメージしての中長期経営計画を策定する。

取組み事項(6)に対する評価

- ・職員情報共有アプリ、LINEWORKSをBCPに活用する方法などの外部研修を受講。令和6年度策定義務化に向けた情報収集を行う。
- ・中長期経営計画策定に向けて、事業所責任者へ策定の目的、策定手順、参考様式及び資料を説明、令和5年度中の策定を目指す。

- (7) 多様な地域生活者のニーズへの対応と地域における公益的な取り組み
鹿児島県等行政や知的障害者福祉協会等各団体、始良市の学校や保育園、地域企業などと連携・協働し、地域社会のセーフティーネットとしての役割や地域における公益的な取り組みの継続、障害者就労の機会、障害児等子育てに関する相談、将来的な福祉の担い手への啓発等、法人が有する機能を最大限に活用し、地域福祉の活性化に取り組む。

取り組み事項(7)に対する評価

- ・鹿児島県男女共同参画局から依頼があり、鹿児島県女性活躍推進会議 女性活躍ワーキンググループへ職員を派遣。「えるぼし」「くるみん」認定企業など女性活躍推進や両立支援の取組に実績のある企業が選定され、任期は3年間となっている。
- ・「地域で暮らす人と看護」をテーマに加治木看護専門学校の非常勤講師として職員を派遣
- ・龍桜高校との交流事業にて「障がい支援について」講義。また、ご利用者とのレクリエーションを実施、福祉の仕事に興味をもってもらう取り組みを行う。
- ・蒲生中学校「職業人講話」へ職員派遣、職業選択のひとつとして福祉について講話を行う。

- (8) SDGs（エスディーゼズ：持続可能な開発目標）への関わり
「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等を実現しよう」等、「keitenkai×SDGs」として目標達成に向けた取り組みを引き継ぎ推進する。また、取り組みの調査・診断を外部機関へ依頼し、課題の洗い出しと取り組みの可視化を図る。

取り組み事項(8)に対する評価

- ・加治木特別支援学校がベルマークを集めて車椅子などの必要な備品に交換をしていることから、敬天会職員やご利用者様と協力してベルマーク集め、加治木特別支援学校に寄付をした。回収したベルマークを企業別、点数別に仕分けを就労作業として行った。
- ・職場、家庭、地域、学校等におけるジェンダーギャップ解消の取り組みに向けた気運醸成を図るため、ジェンダー平等・男女共同参画についての関連情報を一元化した「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」に、安心して働ける職場環境の整備を進めている企業として掲載された。
- ・国際協力NGOジョイセフが主催するホワイトリボンラン2023へ敬天会職員及び職員家族を含め約30名が参加。ホワイトリボンは世界中の女性がより健康に、自分らしく生きることがを支援する運動のシンボルで、3月の国際女性デーにあわせて、日本各地でイベントTシャツを着て活動し、応援する企画に敬天会も参加しました。
- ・外部機関への調査、診断は時期をみて、実施する予定。

3 事業内容

(1) 第一種社会福祉事業の実施

- 障害者支援施設 さちかぜ
施設入所支援事業

(2) 第二種社会福祉事業

- 障害福祉サービス事業の経営
障害者支援施設 さちかぜ
生活介護事業
短期入所事業
kakeru
就労継続 B 型支援事業
就労移行支援事業（令和4年度～休止中）
満天ハイツ
共同生活援助事業（介護サービス包括型）
グループホーム晴町
共同生活援助事業（日中サービス支援型）
短期入所事業

- 相談支援事業の経営
生活支援センター さちかぜ
指定障害児相談支援事業
指定特定相談支援事業
障がい者相談支援事業
障がい児等療育支援事業

- 老人デイサービス事業の経営
共生型地域自立支援センター たたえ
地域密着型通所介護
介護予防・日常生活支援総合事業

- 障害児通所支援事業の経営
クリエイティブサポート くじら
児童発達支援事業
放課後等デイサービス
コミュニティケア ペんぎん（重心対応）
児童発達支援事業
放課後等デイサービス

(3) 公益事業の実施

- 障害者日中一時支援事業
- 有料老人ホームの経営

4 防災計画

(1) 推進目標

定期的に様々な場面を想定した訓練を実施し、日頃からの職員・利用者へ防災への意識を持たせる。また、災害時における要援護者の支援体制や他部署との連携を訓練することで、防災強化と課題の抽出に努め、地域との関係構築や行政との協定を模索し、防災計画を進める。

推進目標に対する評価

- ・防災については、様々な場面を想定した訓練を想定していたが、去年同様新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、計画が大勢の方が集まり密となる全体での訓練はせず各事業所での小規模な訓練や研修の実施を行っている。
- ・新任職員に対する基礎研修やOFF-JTの機会も利用し、防災・防犯の基礎知識の導を行っている。

(2) 年間計画実施状況

- ・新型コロナウイルス感染症クラスター発生により、さちかぜは訓練を実施することができなかった。その他の事業所においては日程を変更し訓練を実施している。

予定月	実施事項	実施事業所	実施内容	協力団体
5月	防災訓練(火災平日想定)	たたえ	火災発生時における避難行動訓練 消火器の取扱いについて (5/25)	始良市消防本部
6月	防災訓練	くじら	地震発生における津波等 (6/11) 避難行動訓練 (6/7~6/9の3日間)	自主訓練
7月	防災訓練(地震津波想定)	たたえ	地震発生における津波等避難行動 訓練⇒10/25実施	始良市消防本部立 会
8月	防災訓練 (休日・夜間想定)	たたえ	火災発生時における避難行動訓練 休日・夜間における消火・避難訓 練⇒3/19実施	始良市消防本部立 会
	甲種防火管理者 資格取得講習	職員	防火管理者取得の為の講習会⇒ 9/1 3名参加	始良市防火協会主 催
9月	委託業者による 消防設備点検	全施設	防火設備点検	ホーチキ株式会社
	防災訓練	くじら	日中における火災想定訓練 (9/14)	始良市消防本部立 会
11月	消火技術競技大会	職員	消火器による消火技術大会	大会中止
	防災訓練	満天ハイツ	夜間における火災想定訓練⇒ 11/14実施	始良市消防本部立 会
12月	BCP訓練	職員	避難後の生活を想定した訓練	中止
2月	防災訓練	晴町/はるまち	・日中における火災想定訓練⇒ 3/14実施	始良市消防本部立 会
3月	委託業者による 消防設備点検	全施設	防火設備点検	ホーチキ株式会社
	防災訓練	満天ハイツ・ kakeru・hopen 合同	地震発生における津波等 避難行動訓練⇒ (3/27)	

訓練の様子



地震想定 (R5.3.27)
作業棟 (もくもく) にて机の下に移動



職員による消火作業

5 防犯計画

(1) 推進目標

ご利用者が地域の中で安全・安心して生活できるように日中及び夜間における施設の体制、職員間の連絡を含めた緊急時対応の訓練を行い、警察・自治体と連携を図り防犯への備えを図る。

推進目標に対する評価

- ・防犯については、新型コロナウイルスの影響により全事業所を対象とした訓練が中止となった。
- ・新任職員に対する基礎研修やOFF-JTの機会も利用し、防災・防犯の基礎知識の指導を行っている。(さすまたの使用法等を体験)

(2) 取り組み

- ① 不審者から身を守る方法について、防犯機器の使用方法を理解する。
- ② 不審者が施設内に侵入した場合の初動対応と利用者の避難誘導方法を学ぶ。
- ③ 始良警察署による、さちかぜ構内巡回パトロールの継続的な実施。
- ④ コロナ禍にあり、訓練での密を避けるため防犯のマニュアル動画を作成し、各事業所での訓練・マニュアルの周知に向け取り組む。

取り組みに対する評価

- ① 新任職員に対する基礎研修やOFF-JTの機会も利用し、防災・防犯の基礎知識の導を行っている。(さすまたの使用法等を体験)
- ② 基礎研修等で基本的な知識を学ぶ機会を設けた。防犯対策の一環として、施設内の通用ドアは施錠を徹底し、職員通用口の暗証番号を毎月変更するなど不審者の侵入を未然に防ぐ対策を継続している。
- ③ 継続して、始良警察署による巡回パトロールを実施。
- ④ 災害や緊急時の人命救助対応のため、救急対応マニュアルを作成。救助発生した場合でも落ち着いて対応できるように、事業所内のミーティングなどで周知、訓練する機会を設けた。

(3) 年間計画実施状況

新型コロナウイルス感染症クラスター発生により、中止

	実施事項	対象者	実施内容	備考
11月	防犯訓練	各事業所	日中における不審者への対応と各事業所間並びに警察との連携について学ぶ	中止

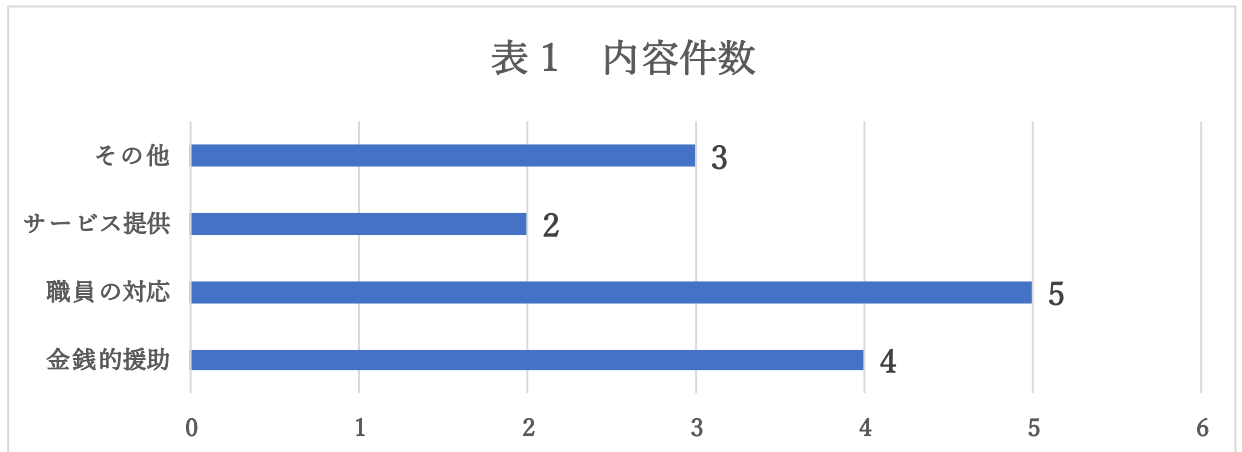
6 苦情・相談

(1) 評価

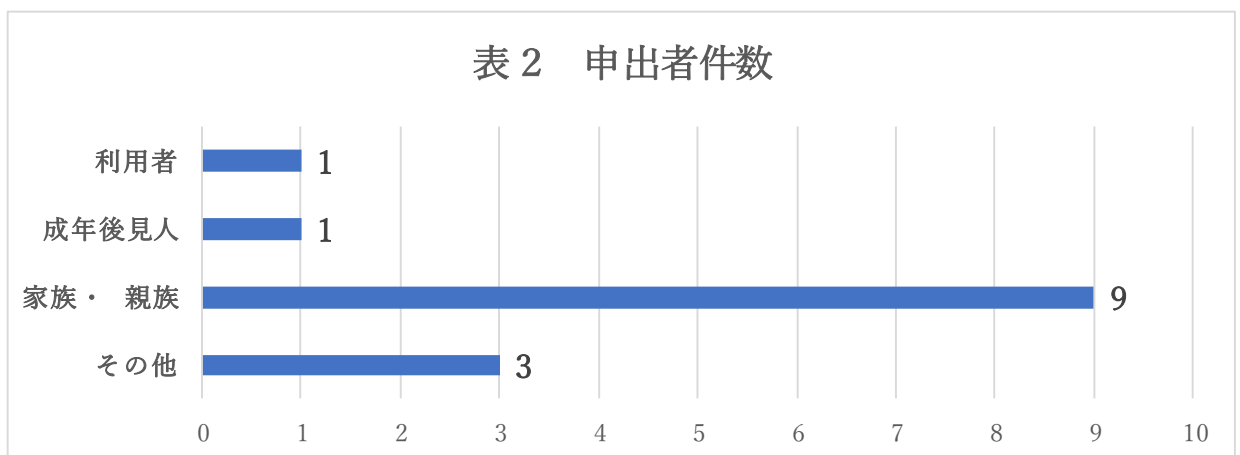
①令和4年度の相談・苦情の受付けは14件（令和3年度14件）であった。

※内訳は、相談8件（前年度6件）・苦情6件（前年度8件）。

②相談・苦情内容は、コミュニケーション不足により相談・苦情が生じてしまったケースなど職員の対応に関して5件、家族への金銭的援助依頼が4件、受託作業中のサービス提供に関して2件、その他は夜間帯に外線が繋がらなかったことへの苦情などがあった。金銭的援助に関しては、詳細を確認し経済的虐待に繋がる恐れはないかなどご利用者に不利益にならないように話を進め、場合によってはサービス提供市町村等へ確認を行うなど適正な処理に努めた。



③申出者について、ご家族からが最も多く9件。その他3件の内訳は、受託作業依頼者2件・協力医療機関が1件。

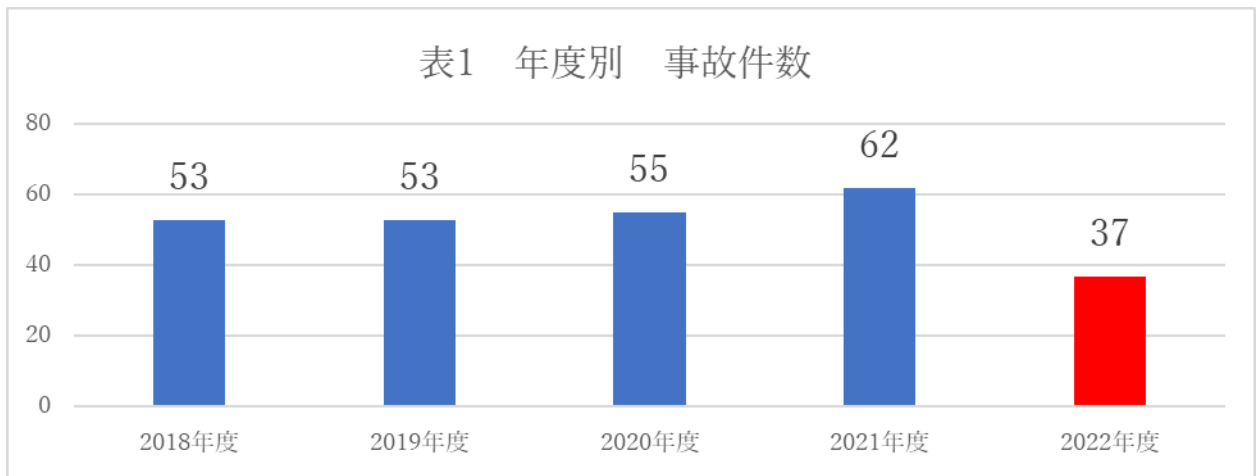


④第三者委員への申し立ては無し。相談・苦情に対して、受容（傾聴）、事実確認、原因究明、再発防止への早期対応ができています。

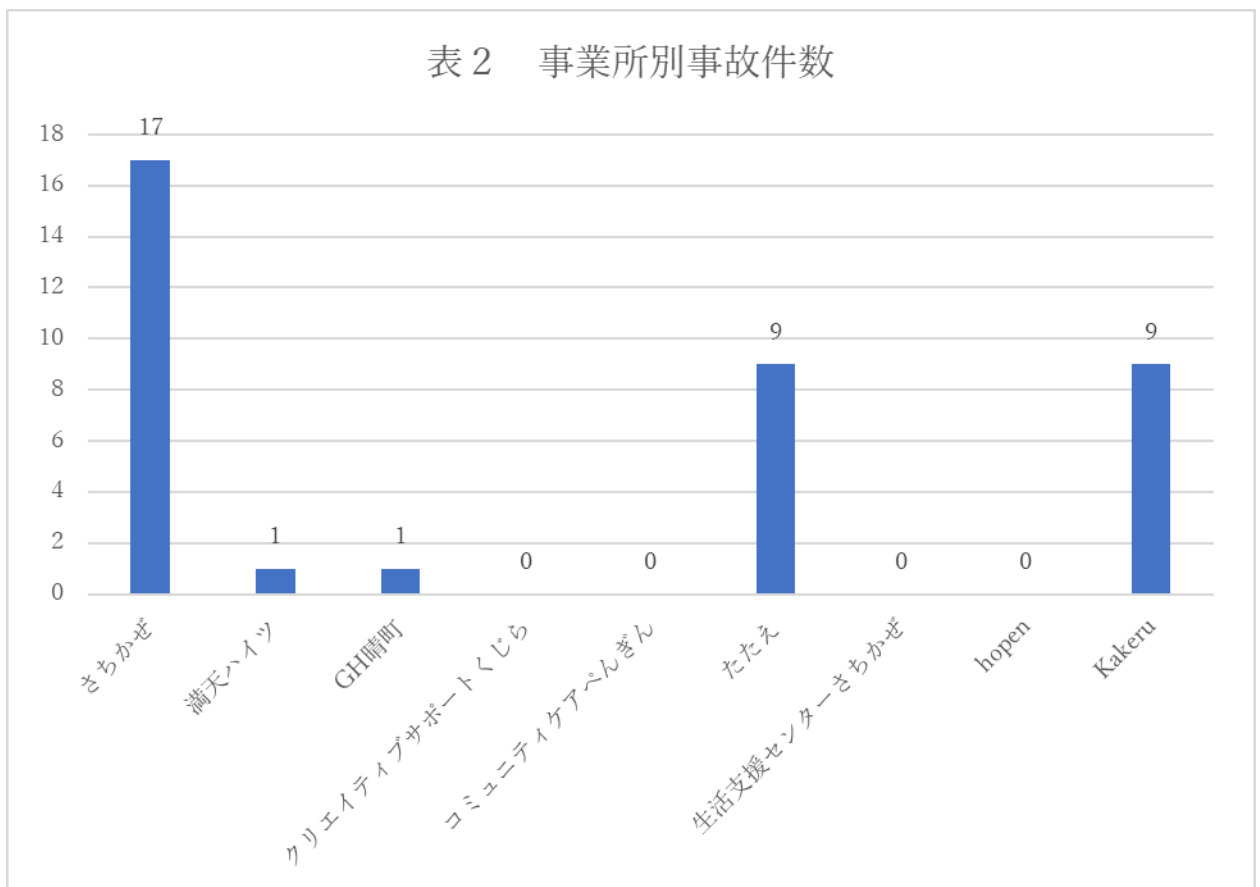
7 事故報告

(1) 評価

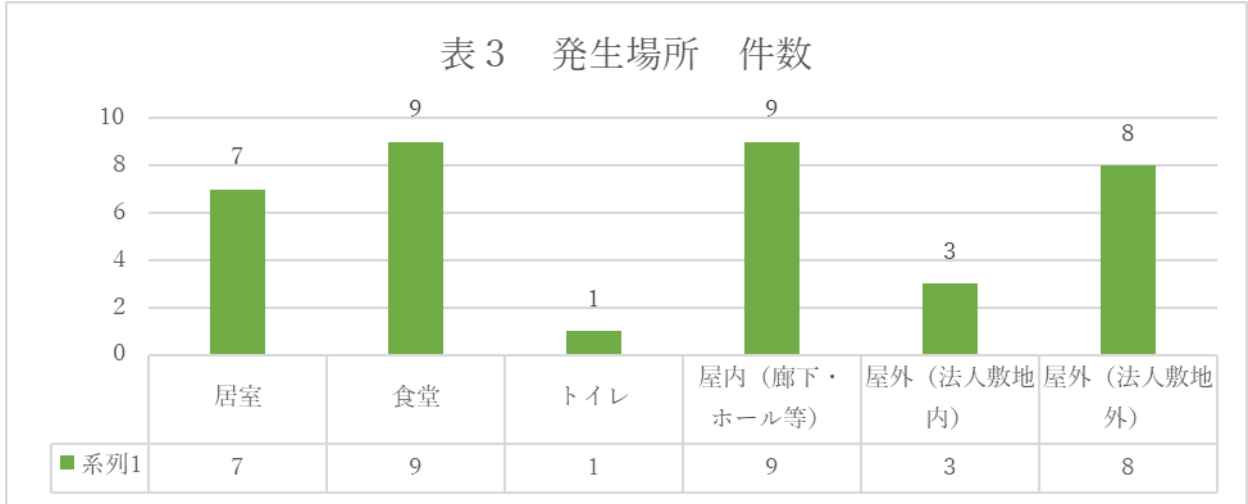
①令和4年度の事故件数37件（表1参照）となった。



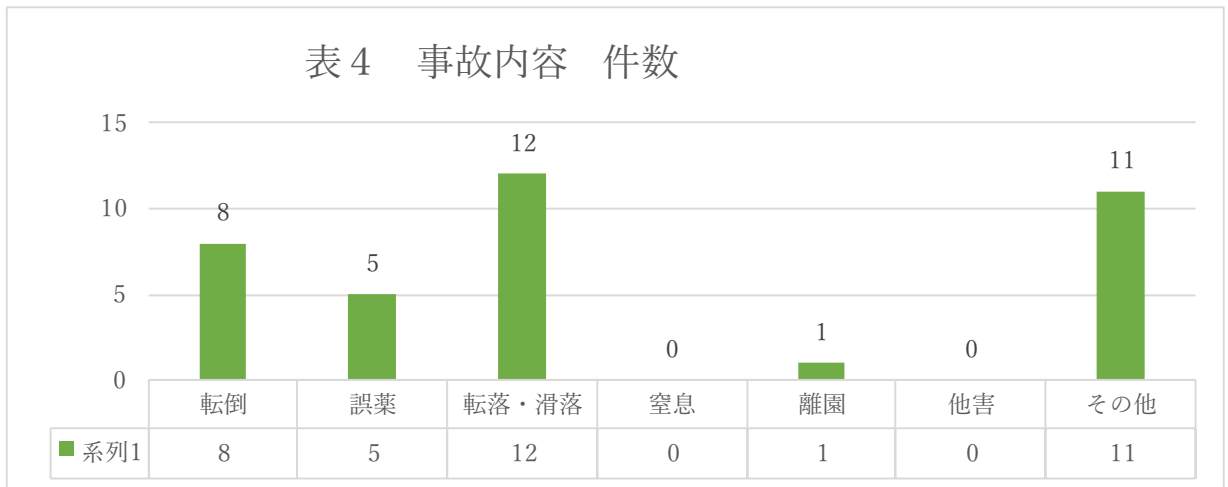
②事業所別の件数（表2参照）としては、さちかぜ施設入所17件（前年度比-9）、満天ハイツ1件（前年度比-3）、GH晴町1件（前年度比-2）たたえ9件（前年度比-11）、kakeru 9件（前年度比+7）、その他の4事業所は0件でした。



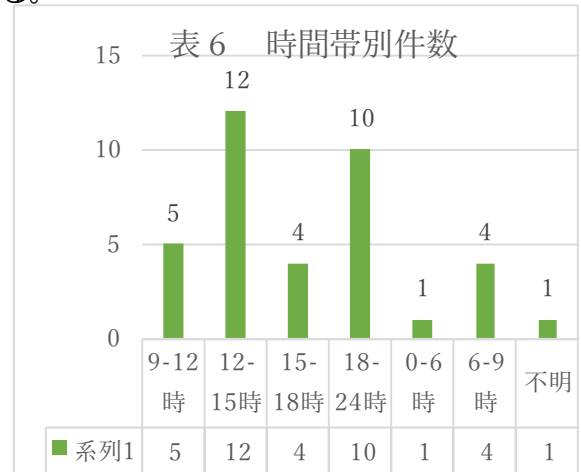
③発生場所（表3参照）は、食堂・室内（廊下・ホール等）が9件と最も多い。



④事故内容（表4参照）は、転落・滑落が最も多く12件（昨年比+6）となっている。ご利用者ご自身で移動する際（立ち上がり・歩行時）につまずくなど認知・身体的機能の低下に起因するものが多い。誤薬については投薬時の薬の取り違いが多く、ダブルチェック等が機能していない状況があり、対応の見直しを行っている。
 その他については、店舗外でのパン販売時の売上の差異が7件含まれる。製造時・納品時・販売後の数量の確認を徹底させ、ご利用者が販売に必要な知識・能力の向上に必要な訓練を継続して支援する。



⑤曜日別（表5参照）・時間帯（表6参照）について、食事支援・排泄支援など、利用者を個別に支援する時間帯・日中サービス利用が始まり、利用者の数が増える時間帯での事故が多く、見守りが十分に行き届かない場面に多く発生している。



8 年間研修計画（別紙2参照）

9 預り金等管理状況／預り金管理実績(令和 5-03-31 現在)

① 預貯金管理

	在籍数	預貯金管理	預貯金預り金額
しらがね	40名	34名	約 344 百万円
にしきえ	34名	30名	
満天ハイツ	36名	32名	約 244 百万円
晴町	13名	10名	約 77 百万円
たたえ	10名	8名	約 73 百万円
計	133名	114名	約 738 百万円

② 現金管理

	在籍数	現金管理	現金預り金額
しらがね	40名	40名	約 118,000 円
にしきえ	34名	34名	
満天ハイツ	36名	34名	約 79,000 円
晴町	13名	13名	約 15,000 円
たたえ	10名	10名	約 15,000 円
個人		17名	約 421,000 円
計	133名	131名	約 648,000 円

※対象外(自己管理)2名(満天ハイツ)

①預貯金+現金 合計 738,648,000 円

※現金保管については、毎月のお小遣い(週末ジュース代等)として、おひとりあたり入所 3,000 円、満天ハイツ 5,000 円、晴町 3,000 円たたえ 3,000 円を各事業所で保管管理している。

また、成年後見人が選任されておられる方は、現金をお預りしている。

ア 新規の成年後見人制度利用は 3 名。

イ 現在、法定成年後見人が選任されている方々

司法書士、弁護士が 成年後見人	ご家族が保佐人	ご家族が成年後見人	合計
8名	2名	11名	20名

ウ 預り金の収支状況報告は、4月、10月、2月の3回を郵送で実施しており、この報告に対する確認届の回収率は、以下のとおり。

報告月	4月	10月	2月	
対象月	7~3月	4~9月	10月~12月	
回収率	89%	87%	88%	

成年後見人	身寄りがない方	身元引受人がおられる方	合計
8名	9名	127名	144名
報告無し	本人への報告	身元引受人へ報告	

工 新規利用契約者（下記参照）の住民票異動手続き，国保，年金，療育手帳その他手帳の住所変更を実施。

■新規利用契約者

契約開始月	対象者	契約時年齢/サービス提供市町村等
令和4年6月	さちかぜ（男性）1名	19歳/霧島市
令和4年7月	満天ハイツ（男性）1名 さちかぜ（男性）1名	20歳/始良市 49歳/霧島市
令和4年8月	さちかぜ（女性）1名	61歳/霧島市
令和4年9月	さちかぜ（女性）1名	33歳/鹿児島市
令和4年11月	たたえ（男性）1名 晴町（女性）1名	72歳/霧島市 61歳/霧島市
令和4年12月	満天ハイツ（女性）1名 たたえ（女性）1名 さちかぜ（男性）1名 さちかぜ（女性）1名	46歳/始良市 74歳/始良市 18歳/霧島市 32歳/志布志市
令和5年2月	さちかぜ（男性）1名	24歳/始良市
令和5年3月	さちかぜ（男性）1名	18歳/鹿児島市

■契約終了者

契約終了月	対象者	備考
令和4年9月	晴町（男性）1名	退所/72歳※11月たたえ入居
令和4年10月	晴町（男性）1名 満天ハイツ（男性）1名	遺留者/55歳 遺留者/74歳
令和4年12月	さちかぜ（男性）1名	遺留者/37歳
令和5年2月	さちかぜ（男性）1名 満天ハイツ（女性）1名 さちかぜ（女性）1名	遺留者/66歳 成年後見人制度利用開始/70歳 成年後見人制度利用開始/59歳
令和5年3月	晴町（女性）1名	遺留者/63歳

- 遺留金品の引き渡し5件。

II 障害者支援施設さちかぜ(施設入所支援・生活介護事業)

1 評価

(1) 生活の質を高める為、サービス向上継続に努める

令和4年度開始して直ぐに新型コロナウイルス感染症が発生、4月・9月・12月、3回のクラスターとなり生活介護事業を円滑に遂行する事が困難だった。しかし、少人数での活動や通所利用者には屋内で出来る活動を提供し、生活介護事業を運営する事が出来た。課題として、感染症に気をとられすぎて利用者さんに退屈な思いをさせてしまった所があったので、今後は、クラスターが発生した際でも充実した生活が送れるように努めていきたい。

施設入所では、疾病などで3名の利用者が退所した。しかし、高齢化やADLの低下にて生活環境を変更する必要性が出てきた為、当法人のグループホームから3名の利用者が入所、また、10名の新規利用者の入所を進める事が出来た。

(2) 人材育成の推進と接遇マナー向上に取り組み、質の良いサービス提供に努める

接遇マナーに関しては、サクラボを取り入れ「接遇とは」と基本的な部分から学んでいった。呼称に関しては、完全とは言えないが職員一人ひとりが意識改革する事で、あだ名や呼び捨てでの対応が減った。

人材育成については、未だ課題があり職員一人ひとりで伝え方を変えていかないと伝わらない現状、伝えるだけで満足するのではなく、フィードバックしてもらい理解できたのか確認していく必要性を感じている。ミドル職員を増やし、下位職員の指導に努めていきたい。

当たり前な事を当たり前出来る人材を増やしていけるように努める。

(3) 利用者が豊かな生活を送れる環境、職員がやりがいを感じる職場を作る

クラスターが発生、また国の情勢などでイベントがほぼ中止になってしまい豊かな生活を送れる環境作りが出来なかった。そのため、職員がやりがいを感じる事は難しかったのではないかと思う。今後は、クラスターが発生しても施設内で出来るイベントなどを企画し利用者に満足してもらい、また、職員もやりがいを感じられるように環境を整えていきたい。

○施設入所支援事業利用状況(定員80名)

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	24,829	25,597
平均利用者数	68.0	70.1
利用率	85.0%	87.6%

○生活介護事業利用状況(定員80名)

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	19,302	20,558
平均利用者数	71.7	76.4
利用率	89.6%	95.5%

ア 創作活動

季節行事の装飾品やレクリエーション用品、手芸品、個別での絵画、貼り絵などの作品を正面玄関、リフレッシュコーナー等に展示し、やりがいや達成感に繋げた。

イ 屋外活動、リハビリ

屋外活動が少なかったが、筋力低下を予防するためにリハビリ専門職と連携し屋内での運動に取り組んだ。

ウ 生産活動

ドーナツマグネット、ペットボトルツリー、凧を制作し、利用者の意向・能力に応じて作業工程を振り分け、個々の能力が発揮できるよう環境を整え、生産活動を支援した。

2 行事実施状況

月日	行 事	参加	
		利用者	ご家族
4/9	春の宴 2022in さちかぜ	86	0
5/25	皐月祭	76	0
5/31	ひだまりカフェ	15	0
6/17	ちょこっと外出	1	0
9/26	屋食セレクト弁当	79	0

月日	行 事	参加	
		利用者	ご家族
11/29	屋台ラーメン ワノ国	71	0
12/19	餅つき大会	87	0
12/31	ありがとう2022	73	0
2/8	節分改めコロナをやっつけろ	85	0

3 栄養支援 評 価

- (1) 栄養ケアマネジメントに取り組み、ご利用者の身体の状態把握に努め、随時、食事形態の検討・変更を行い、食べる楽しみが継続できるよう支援をおこなった。
- (2) 厨房職員へ衛生等の指導を行い、衛生管理に努め、安全な給食提供を行うことができた。
- (3) 再加熱カートを使用し、適温での食事提供をすることができた。また、厨房職員の作業の効率化も図れている。

3-1 嗜好調査

令和4年度は、1回実施し、ナリコマエンタープライズへ要望している。

実施期間	対象者
3月21日～3月31日	入所者74名（入院：1名）

3-2 給食委員会 開催状況

開催月日	議 題	参加者	
5月27日	・O氏の体重減少について ・M氏の食形態について 等	支援員 2 看護師 1	事務員 1 栄養士 2
6月21日	・H氏の食事形態について ・M氏の食事提供方法について 等	支援員 2 看護氏 1	栄養士 2
7月25日	・M氏の対応について ・個別対応について 等	支援員 2 看護師 1	事務員 1 栄養士 2
8月23日	・M氏の食事支援について ・O氏の食事形態について 等	支援員 1 看護師 1	事務員 1 栄養士 2
1月27日	・窒息の危険がある方の対応について ・Y氏の自助具について 等	支援員 2 看護師 1	事務員 1 栄養士 2

Ⅲ 障害者支援施設さちかぜ(短期入所・日中一時支援事業)

■短期入所事業利用状況（定員2名）

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	300	634
平均利用者数	0.8	1.7
利 用 率	40.0%	87.0%

■日中一時支援事業利用状況

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	547	687
月平均利用者数	45.5	57.2

IV 満天ハイツ(共同生活援助事業)

1 評価

- (1) コロナ禍ではあったが、地域行事である加治木町まちづくり協議会主催の「歩こう会」やペタンク大会に感染症の対策を講じた上で参加をしている。新型コロナウイルス感染症の感染率が、少ない時期に余暇の時間を利用して近所のスーパー等で日用品や、お菓子を購入するなど、地域と繋がる機会を増やせるよう取り組んでいる。またその際、外出や買い物をする際の最低限のルールを提示している。
- (2) 利用者の重度・高齢化及び利用者の健康に対応する為、所属看護師と共に、感染予防対策や日々のバイタルチェック・健康状態の把握に努めた。9月17日～25日（罹患者1名）12月24日～令和5年2月10日（罹患者12名）の期間で新型コロナウイルス感染症が発症したが、感染予防対策として感染症フェーズに応じた対応を取った。その際の期間の行事等が中止になる事があったが、フェーズに沿った対応を行うことで被害を最小限に抑えることが出来た。

利用状況（定員 37名）

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	12,958	13,372
平均利用者数	35.5	36.6
利用率	96%	99.0%

2 行事実施状況

日付	行事	利用者数	日付	行事	利用者数
7月	満天・七夕	37名	12/29	餅つき（発達支援課合同） ※感染症にて中止	
9月	就労合同カレー作り inZoom	37名	12/31	ありがとう2022年 ※感染症にて中止	
11/19	歩こう会(加治木町まちづくり協議会)	3名	3/26	満天ハイツ 花見	32名
12/10	就労合同忘年会 inZOOM	32名	3/5	錦江校区第3回ペタンク大会	6名
12/25	クリスマス会 ※感染症にて中止				

散髪・買い物外出は利用者からの希望や必要な際に定期的に行っています。

V グループホーム晴町(共同生活援助事業)

1 評価

- (1) 晴町が開所して2年目となる。業務の流れや職員配置の見直し、勤務形態の調整等を重ね、少しずつではあるが入居者により良いサービスを安定して提供できるよう、職員間での話し合いや、日中サービス事業所との調整を行い、試行錯誤しながら解決を図っている。
また晴町でもコロナの大規模感染が発生し、外部との交流を図ることが難しい状況が続いたが、晴町周辺の散策や地域の神社への初詣、公園の利用、SNS を通じて晴町の様子をネット上に投稿するなど、外部との交流や情報の発信を増やす機会を設ける事に努めた。
短期入所については、R4.7月より稼働し、R5.5月現在、男性利用者5名、女性利用者7名の方が契約されている。今後もさらに重度心身障害者の受け入れを充実すべく、職員の配置を含め、受け入れ態勢を整えていく。
- (2) 入居者の体調面の把握や、それぞれのライフスタイルに応じた支援の提供・住環境を整えることに努める。晴町に移行し二年が経過した。重度、高齢である為、住環境の変化や日中サービス利用と移動など、利用者にかかる負担（ストレス）や、体調面で状態（症状）が悪化しやすいこともあり、体調管理の難しさが課題となっている。早期に病院受診し医療機関との連携を図ることで重症化のリスク軽減に努めている。また褥瘡がある利用者については生活介護利用日の調整、栄養面の見直し、除圧の徹底等対策を講じている。

GH 晴町 利用状況（定員16名）

	令和4年度
延べ利用者数	4,308
平均利用者数	11.8
利用率	73.9%

短期入所（定員 1名）

	令和4年度
延べ利用者数	79
平均利用者数	6.1
利用率	19.9%

2 行事実施状況

日付	行事	利用者数
8月28日	GH 晴町 納涼会	GH 晴町 14名 満天 7名
11月15日	GH 晴町 1周年記念イベント	GH 晴町 14名
12月27日	クリスマス会	GH 晴町 14名
1月1日	年始会・初詣（～3日）	GH 晴町 14名

※ 利用者の誕生日は、その都度、誕生会を開き、お祝いしている。

VI 共生型地域自立支援センターたたえ（生活介護・地密通所介護・有料老人ホーム）

1 評価

(1) 生活介護

令和4年度中の新規ご利用者は5名。特別支援学校卒業生が3名、地域からの利用が2名であった。

利用状況（定員20名）

	令和4年度	令和3年度	
延べ利用者数	4,673人	5,020人	▲347人
一日平均利用者数	17.4人	18.7人	▲1.3人
利用率	87%	94%	▲7%

(2) 地域密着型通所介護・総合事業

令和4年度中の新規ご利用者は4名であった。一方、3名のご利用者が逝去・医療機関への入院にて利用終了となる。

利用状況（定員15名）

	令和4年度	令和3年度	
延べ利用者数	1,793人	2,007人	▲214人
一日平均利用者数	5.7人	6.4人	▲0.7人
利用率	38%	43%	▲5%

(3) 住宅型有料老人ホーム

令和4年度中の新規ご利用者は4名。地域や病院退院後の入居利用であった。また、さちかぜご利用者のお母様も入居され、コロナ禍で途絶えていた家族交流が再開するきっかけとなった。一方、利用を中断・終了する利用者は3名（逝去1名、医療機関への入院2名）であった。現在の10名のご入居者様が暮らされている。

(4) 新型コロナウイルスへの対応

全国的な感染拡大に伴い、令和4年度中は定期的に職員・御利用者より感染が確認された。その都度、接触者特定や関係者への連絡等の対応に追われることとなった。

また、7月と12月に事業所内での感染拡大が確認された。ご利用者の生活スペースを区分けするなどゾーニング対応、接触者への検査等を行った。

職員も不安も抱えながらも、法人・事業所全体での対応に努めた。7月の発生終焉後には対応や経過を振り返り、課題や今後の対応方法を検討した。その為12月発生時はシュミレーション通りの対応がとれ比較的落ち着いた対応が出来た。

	発生から収束までの期間	感染者	対応
7月	7月21日～8月6日	職員5名、利用者4名	入院1名、自宅待機等
12月	12月28日～1月19日	職員1名、利用者4名	自宅待機

(5) 重度化への対応

重度化・高齢化に対応する為に「介護職員による喀痰吸引」の資格取得を促進し、新たに2名の有資格者が誕生した。

2 行事実施状況 コロナ感染拡大予防の為、中止や縮小して行った。

日付	行事	日付	行事
4月	お花見外出（中止）	11月	紅葉ツアー（縮小）
5月	初夏の遠足（中止）	12月	クリスマス会 餅つき
7月	七夕会（縮小）	1月	新年会（中止）
9月	くじら合同敬老会（中止）	2月	節分
10月	ハロウィン	3月	ひな祭り

Ⅶ クリエイティブサポートくじら(児童発達支援事業・放課後等デイサービス)

1 評価

- (1) 適切な療育活動ができるよう児童の特性や発達に応じて小集団(4~5人)にて、必要となる日常生活動作や自立支援をするための活動提供を実施した。また不登校の児童を受入れ学校での困りごとや特性について理解を深めたり、個別的に課題を見出すことができるように配慮された環境の中で自信や安心を深めたりすることができた。
- また、定期的な評価や保護者へ、オフィシャル LINE 等にて児童の日々の様子や事業所での活動内容を理解して頂いた。またご家族や学校と連携を図りながら具体的な生活の中で子育て上の困難に対する支援を行った。
- (2) 今年度は、新型コロナウイルス感染が広がり、緊急事態宣言下での開所時間の短縮や三密を避けるための季節行事の制限、保護者懇談会の中止など周囲の状況に合わせてながら実施した。事業所内の消毒や衛生管理の徹底に努め、児童受入れ時の身体・健康チェックを実施し児童の体調把握に努めた。また保護者の方へもご協力をいただき、マスク装着の徹底や自宅での体調管理を促した。事業所内にて新型コロナウイルス感染症児童5名職員4名の陽性が確認され、1日のみ営業を停止した。保護者への状況説明、活動を縮小しての営業を実施。
- (3) 他事業所との連携については、特別支援学校と夏季休暇を利用して教諭の研修受け入れや児童支援についての情報共有、課題検討を行うができた。また、生活介護の体験利用や就労体験(kakeru)との連携を図りながら利用児童のライフステージに応じ継続的な支援が出来るように関係事業所との連携を図った。

○利用状況(定員10名)

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	3,088	3,118
平均利用者数	9.6	10.0
利用率	96.4%	100%

○活動実施状況

月	療育活動	主な行事
4月	① 音楽療法(4/9午前実施) ② 制作遊び(母の日) ③ 運動遊び(散歩) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 調理体験(おにぎり 4/13実施)	・ピクニック外出(蘭牟田池 4/24実施)→GW デイキャンプへ変更 ・交通安全教室(8月へ延期) ・GW外出(デイキャンプくじら 4/29実施) ・お誕生日会(4月生まれ 4/26実施)
5月	① 音楽療法(5/21午前実施) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ 調理体験(おにぎり 5/18実施)	・GW外出(県民の森 5/4実施) ・芋植え体験(5/9実施) ・誕生会(5月生まれ 5/25実施)
6月	① 音楽療法(6/4午前実施) ② 制作遊び(父の日) ③ 運動遊び(散歩) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 調理体験(おにぎり 6/15実施)	・避難訓練(地震)(6/6~6/11実施) ・マナー外食(ガスト加治木店 6/25実施) ・誕生日会(6月生まれ 6/24実施)
7月	① 音楽療法(7/16午前実施) ② 制作遊び(七夕飾り) ③ 運動遊び(散歩) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 調理体験(カレー7/28実施)	・七夕会(7/7午後実施) ・職場体験 ・就労体験(7/22実施) ・放デイ交流会(トムランド 7/27実施)
8月	① 感覚遊び(園芸) ② 音楽療法(新型コロナウイルス感染症対策のため延期) ③ 水遊び(8/2 県民の森, 8/4 台明寺溪谷公園, 8/12 大出水の湧水, 8/16 丸池)	・誕生日会(8月生まれ 8/30実施) ・交通安全教室(8/31実施)

	湧水, 8/18 県民の森, 8/22 台明寺溪谷公園, 8/24 大出水の湧水, くじらプール 8/10 実施) ④ 運動遊び(散歩) ⑤ 調理体験(そばろ丼 8/19 実施)	
9月	① 音楽療法(9/3 実施) ② 運動遊び(散歩) ③ 制作遊び(ハロウィン) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 調理体験(9/7 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(火事 9/12~17 実施) ・体験学習(上野原縄文の森, 松下美術館, 坂元のくろず 9/10) ・たたえ合同敬老会(9/23 実施) ・買物訓練(ダイレックス加治木店, ローソン加治木店 9/26~9/30 実施) ・誕生日会(9 月生まれ 9/28 実施)
10月	① 音楽療法(10/15 午前実施) ② 制作遊び(ハロウィン) ③ 感覚遊び(園芸) ④ 運動遊び(散歩) ⑤ 調理体験(おにぎり, 味噌汁 10/26 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科見学(坂元の黒酢) (10/2 実施) ・親子遠足(さくら農園 10/10 実施) ・芋掘り(くじらにて実施 10/17~10/22 実施) ・誕生日会(10 月生まれ) ・ハロウィン(10/31 実施)
11月	① 音楽療法(11/19 午前実施) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ 調理体験(おにぎり, 味噌汁 11/16 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー外食(くじらにて焼肉 11/26 実施) ・誕生日会(11 月生まれ 11/5 実施)
12月	① 音楽療法(12/11 実施) ② 運動遊び(散歩) ③ 制作遊び(松ぼっくりクリスマスツリー) ④ 制作遊び(ミニ門松) ⑤ 感覚あそび(園芸) ⑥ 調理体験(おにぎり, 味噌汁 12/7 実施) ⑦ 調理体験(餃子, 麻婆豆腐, わかめスープ 12/29 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー外食(マクドナルド加治木バイパス店 12/3 実施) ・誕生日会(12 月生まれ 12/8 実施) ・生活介護体験(12/2 実施) ・クリスマス会(くじらにて実施 12/23, 24) ・忘年会(くじらにて実施) すき焼き(12/30 実施) ・餅つき(12/12~16 実施) ・子ども会交流会(12/27 実施)→コロナ感染症にて子ども会との交流ができず事業所交流へ変更
1月	① 音楽療法(1/21 午前実施) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ 調理体験(おにぎり(納豆, 鶏炊き込み), 味噌汁 1/11 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・初詣外出 4 日間(八幡神社, 鹿児島神宮 1/9,10,12,13 実施) ・体験学習(くじらにて陶芸 1/23~27 実施) ・誕生日会(1/24 実施)
2月	① 音楽療法(2/5 午前実施) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ 調理体験(おにぎり)(2/8 実施) ⑤ 豆まき(療育活動にて実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会(2 月生 2/15 実施) ・親子遠足(かこしまいおワールド水族館 2/23 実施)
3月	① 運動遊び(散歩等) ② 音楽療法(3/18 午前実施) ③ 感覚遊び(園芸) ④ ひなまつり(療育活動にて実施) ⑤ 調理体験(うどん 3/8 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー外食(マクドナルド加治木バイパス店, お祭り一番館 3/4 実施) ・誕生日会(3 月生まれ 3/10 実施) ・乗り物外出(丸岡公園, JR 加治木~鹿児島 3/11 実施) ・お花見外出(丸岡公園) (3/16 実施) ・くじら送別会(3/25, 3/27 実施)

Ⅷ kakeru 多機能型就労訓練事業所（就労継続支援 B 型/就労移行支援）

1 評価（就労継続支援 B 型）

- (1) 利用者・職員共に年齢が高くなってきていますが、作業中の大きな怪我や体調不良等無く継続した就労につながった。新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になり自宅待機の方には在宅就労を提供し、家族と連携を図りながら支援を行った。モニタリングにて、利用者の希望する活動（移動販売・機械・工具を使っての作業）を提供する事で自信・意欲が持てるように取り組んでいる。
- (2) イベントや学校行事の販売・バザー・国体リハーサルへ積極的に参加し、売り上げ・知名度・工賃の向上に努めました。また受託作業では、庭の雑草取りや農家の手伝いを等、定期的に声を掛けていただき、継続的に取り組めました。パンで売れ行きに良い人気商品を、チョコチップペーグル、明太フランス、加治木まんじゅうみたいなパンと命名し販促活動に入っている。社会福祉協議会と連携し、生活困窮者へ食糧を提供する地域貢献を行った。
- (3) 城西高校・牧之原特別支援学校より 6 名の実習生を受け入れ、うち 2 名は令和 5 年 4 月より新規契約へ繋がった。特別支援学校の事業所説明会へ、卒業生と共に参加し作業内容や取り組みを後輩に伝える取り組んでいる。
- (4) 内部研修を計画的に受講できるようにし、法人の取り組みや規則の再確認が出来ている。また資格取得・外部研修に参加し職員のスキルアップを図っている。

2 各事業の実績

就労継続 B 型事業 総売上 17,768,226 円（内部取引消去 1,614,920 円含）

(1) 事業内容

室内作業：地域企業からの作業依頼があり、ほぼ毎日作業し納品している。

得意・不得意を確認し、力を発揮できる作業を提供し、メリハリのある作業に取り組んでいる。

受託：農家の方より、「助かります」と、お言葉を頂いており、農福連携に取り組んでいます。春から秋頃まで農作業が詰まり忙しくなるが、段取り良く取り組んでいる。

Café：認知・集客の為、地元ラジオ出演・広報誌発行・インスタ配信等広報に努めました。また、TJかごしまのマチカフェの雑誌に掲載。

ランチに対応する新メニューを提供した。

水曜日・金曜日は加治木高校へおにぎり販売に取り組んでいる。

移動販売の希望の利用者さんが多く、交代で販売に行きますが、元気な大きな声で挨拶もでき完売すると笑顔が多く見られています。

今までコミュニケーションが少ない利用者の方が、自分の意見・考え・新メニューを考案し、調理を担当するなど積極的になりました。

マテリア：加治木高校・龍桜高校・加治木中学校の行事に合わせ販売している。

イベントを事前告知し、実施する事で、生徒さんがワクワクするような、販売イベントを多く実施した。

鹿児島国体の販売をイメージした移動販売を年度末より繰り返し行い、本番に向けて職員・利用者さんがたくさんの経験をし、振り返り改善につなげている。

(2) 利用状況・平均工賃実績

ア 利用状況

新事業所（hopen）の開所に伴い利用率は下がりましたが、多くの養護学校等の実習生の受け入れに取り組み、令和 5 年 4 月より実習参加した養護学校卒業生が 2 名新規契約に繋がっています。また、営業チームを発足し法人全体の定員の満床補充に向けて毎月相談事業所・行政等へ挨拶回り・営業活動し新規利用者獲得に取り組んでいる。

各作業班で売り上げを少しずつ伸ばし、販売の工夫を繰り返し行う事で前年度より就労課の総売り上げは増えていますが、原材料・光熱費の高騰により利益は厳しい状況ではあります。

就労継続支援事業B型（定員34名）

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	7,029	8,691
平均利用者数	26.1	31.4
利用率	77%	92%

イ 利用者工賃

	目標工賃	工賃実績
令和4年度	11,700円	12,213円
令和3年度	11,500円	13,490円

3評価（就労移行支援）

- ・令和4年度は、休止申し立てしました。
- ・令和5年度も、令和6年3月まで休止申し立てしています。

4行事実施状況

※毎月15日 工賃支給日 菓子・ジュース類購入の買い物訓練実施。

4月	交流会
6月	社会科見学
8月	アンリーシュマルシェ（山形屋） 暑気払い・バーベキュー大会
12月	忘年会 松原なぎさ市
1月	初詣
2月	テラマルシェ
3月	国体販売シュミレーション

5地域貢献

日時	場所	内容	提供内容	
年間	マテリア はるまちCafé	パスポート提示の方にパン、ドリンク2割引	子育て支援 サポート事業	120名
5月24日 15時	始良市 社会福祉協議会	生活困窮者支援 米粉パン2個、カツサンド1個、焼きチーズカレーパン1個、ツナパン1個	生活困窮者家 族食事支援	始良市東餅田 m様
8月5日 17時	始良市 社会福祉協議会	ホームレス支援 シュガーチーズ1個、あんぱん2個、あんバター1個、クリームパン1個	ホームレス食事 支援	大阪府堺市中 百舌鳥町 s様
10月3日 15時	始良市 社会福祉協議会	生活困窮者支援 あんぱん1個、チョコチップメロンパン1個、 焼きチーズカレーパン2個、メロンパン1個、 チョココロネ1個	生活困窮者 食事支援	始良市蒲生町 s様
12月14日 15時	始良市 社会福祉協議会	生活困窮者支援 チョコチップメロンパン1個、メロンパン1個、 クリームパン1個	生活困窮者 食事支援	始良市西餅田 t様

IX hopen（就労継続支援 B 型）

1 評価

- (1) ご利用者の特性を共有し要望を汲み取りながら本人の出来ることを探し、一連の作業工程を細分化し無理なく個々のペースで仕事ができるよう工夫し、働く意欲を高め、やりがいや喜びを感じ継続的に作業へ取り組めるよう努めた。
- (2) 行政と共に生活困窮者の自宅清掃の地域貢献を行うなど、地域課題に関する情報収集と課題解決に向けた取り組みを行った。高齢の農業従事者からの依頼、地域企業からの請負作業、販売など地域交流や協働に繋がる取り組みを行った。
- (3) 法人内児童事業所と連携し長期休暇期間に就労体験を行うなど、将来に向けての取り組みを行った。特別支援学校からの実習を受け入れ、就労能力評価や課題解決の抽出を行い学校関係等と連携を図り新規利用への取り組みを行った。また、初めて加治木特別支援学校の医ケア児を受け入れ、法人看護師による喀痰吸引をしながら働く喜びを感じてもらった。
- (4) 各会議、外部研修や内部研修へ参加し、職員へ情報の共有を行い日々の支援について振り返りを行い、重度高齢化や多様な障害特性に合わせご利用者が日中作業に参加できるように個々の状態に合わせた就労支援に努めた。また、職員の資格取得によるスキルアップも図れた。

2 各事業の実績

就労継続 B 型事業 総売上 696,665 円

(1) 事業内容

除草作業：2 件の年間契約を終結、その他、単発での除草作業を受ける。

室内作業：個人や企業 5 社からの請負作業(サツマイモの根切り・分別・箱折り・ラベル貼り・電子部品専用ケース組立・封入作業・チラシ折り込み等)を行っている。また、ご利用者が描いた T シャツや作成した小物などをインターネットでの販売も始め販路拡大に努めた。

(2) 利用状況・平均工賃実績

ア 利用状況

令和 4 年度より、ご利用者の就労や生産活動等への参加を促し地域との協働作業を目的として新たな単独型事業所としてスタートする。ご利用者の多くは生活習慣や就労意欲向上に課題がある。今後の取り組みとして、やりがいや働く喜びを感じられるように仕事と楽しみのメリハリが得られる取り組みを行い利用率の増加に繋げたい。平均工賃に関しては、現在の請負作業の生産力を高められるよう努める。

定員 20 名	令和 4 年度	令和 3 年度
延べ利用者数	3,990	—
平均利用者数	14.8	—
利用率	74%	—

イ 利用者工賃

	目標工賃	平均工賃実績
令和 4 年度	—	6,645 円
令和 3 年度	—	—

3 行事実施状況

※毎月 15 日 工賃支給日 菓子・ジュース類購入の買い物訓練実施。

4 月	・交流会	8 月	・BBQ	12 月	・忘年会
7 月	・調理体験	10 月	・就労イベント(秋祭り)		

4 地域貢献

日時	場所	内容	提供内容	
4 月 8 日	西宮島自宅	生保 2 名, 基幹センター 1 名, 障害福祉課 1 名 ゴミ屋敷 室内清掃	職員 3 名 ご利用者 8 名	西宮島 S 様

X コミュニティケアペンギん(児童発達支援・放課後等デイサービス・居宅訪問型児童発達支援)

1 評価

- (1) 昨年度より一層個別支援計画の充実を図った。児童発達支援管理責任者の資格を持つ職員が4名いる事もあり、一人ひとりの評価や支援会議の中身も充実させることができた。説明の際には、保護者だけでなく児童にも参加してもらい、支援の在り方等についても、支援者のみの意見ではなく、保護者や児童の意見を取り入れる事ができた。また、保護者様とは、オフィシャルLINE等を通じて療育の内容や様子をお伝えし、安心して安全な環境であることを理解していただけるように発信し、質の高い療育や訓練を提供できた。
- (2) インスタグラムの投稿を1週間に1度する事を目標として取り組んだ。また、「いいね」の数やハッシュタグの付け方などの分析も行い、投稿時間や閲覧者への見せ方などについても積極的に取り組めた。また、ストーリーと連動させるなどして工夫もした。求人等についてもインスタを利用した事で、「インスタを見ました」と言われる人もいらっした為、効果があったと思われた。
- 一方で、コロナ感染症の蔓延に伴い、目標としていた地域住民へ向けての勉強会の開催は難しい状態だった。勉強会や交流会の開催の仕方の工夫を検討していく必要がある。
- (3) 自立支援協議会(子ども部会・児発/放デイグループ会議)に代表者が参加する事で、始良市の現状等を理解し、様々の情報収集が行えた。また、医療的ケア児の研修会では、パネリストとして児発管理が登壇し受け入れ事業所としての取り組み方等について発表した。ペンギんの療育内容なども少しずつ広がり、利用者も増えてきた。
- また、事業所内でのハビリの内容等を関係機関の方と共有する場を設け、多職種連携で利用児によりよい支援について協議等をする事もでき、関係機関との連携を密に図れた。
- (4) 研修については、法人内外を含め様々な研修に参加ができた。特に「医療的ケア児コーディネーター研修」や「感染管理認定看護師による感染防止対策現場支援報告会」等は、現場ですぐに活かせる内容のもので、事業所内で伝達研修をする事で共通理解がはかれた。
- 今年度は、虐待防止や人権擁護、意思決定支援についても事業所内で研修のみならず月1度の振り返りの場を持ち、利用児一人ひとりの人権を考えて支援が行えるようにした。

○利用状況(定員5名)

	令和4年度	令和3年度
延べ利用者数	465	39
平均利用者数	1.7	0.28
利用率	35%	6%

○活動実施状況

月	療育活動	主な行事
4月	感覚あそび・語彙獲得	—
5月	音楽療育・母の日制作・ボール遊び	—
6月	音楽療育・季節の制作・ボーリング遊び	—
7月	シャボン玉遊び・七夕制作・音楽療育	夏祭り
8月	図書館外出・シャボン玉遊び・外気浴	プール遊び
9月	魚釣り・感覚遊び(氷を触る)	お月見会
10月	生活訓練(花の水やり)・果物狩り	ハロウィンパーティー
11月	アロマ体験・音楽療育・季節を感じる外出	芋ほり会
12月	トーキングゲーム・音楽療育(ギター)	クリスマス会
1月	アロマ体験・音楽療育・季節の制作	お正月遊び
2月	音楽療育・感覚遊び(雪を触る)	豆まき会
3月	散歩・音楽療育・季節の制作	ひなまつり会

Ⅷ 生活支援センターさちかぜ(相談支援事業)

1 評価

- (1) 社会情勢を考慮し Zoom 等による各部会、会議等参加により地域の現状と課題解決などの地域づくりに協力、全体共有するとともに、関係機関との密な連携を図った。また、サービス事業所が来所される機会を通じて地域の現状等の情報を個別共有することができた。また、24 時間相談受付体制を継続する事で、さまざまな要望に対応できるようにしている。一般相談の件数は更に増えてきており、行政と共に虐待を予防するための取り組みや、事例を通じた情報共有、検討を行っている。

あいすくファイルが無償提供し、子供の成長の記録、関係機関との情報共有として活用できるように継続的に取り組み、ファイル活用の活性化を図っている。

相談支援部会では、地域の困難事例にたいして GSV を行い、地域資源の情報共有、意見交換等を行ない相談員の質の向上に努めた。

- (2) 地域の感染症状況を見ながら、ご本人や家族、関係機関等の状況やご希望等に合わせて参集・Zoom・電話・メール等による担当者会議等を行った。家族支援が必要な状況も増えており、行政の相談機関や教育機関・保育園・保健師等関係機関との連携により対応をしている。

希望者数が増えているので、出来る限りの対応はしているが、新規計画作成は2ヶ月程待ってもらっており、他相談支援事業所との連携も図りながら、切れ目のない相談支援を継続して行えるよう進めている。

- (3) 障がい児等療育支援事業では、新型コロナウイルス感染状況に合わせて、随時、相談者やセラピストの状況等確認し、訪問や来所等の場所やタイミングを調整した。療育機関や保育園等の新規立ち上げによる新規申し込みも増えているので相談や研修会等実施している。障害児等療育支援事業の活用方法についても、こども総合療育センターから回数や介入期間の検討が求められており、今年度で重症心身障害児者の会への支援を一旦終了している。1 年かけて説明等行ったことで、混乱等はなく進められたので、今後は経過をみていくこととする。県こども総合療育センターや他の委託事業所と今後の事業の進め方を協議をしながら進めていく。

始良市発達支援ネットワーク会議で、加治木特別支援学校巡回相談、さちかぜ療育支援事業、行政の保育士サポート事業と連携を図り、始良市の療育について情報共有や課題検討等を行った。

- (4) 始良市の3会議の委員、教育委員会の2協議会の委員、県の開催する研修の講師・ファシリテーター等として参加協力している。また、県から医療的ケア児アドバイザーの依頼を受け、活動開始。始良市や霧島市、湧水町障害者自立支援協議会こども部会において医療ケア児への支援について関係機関と情報共有を図っている。

また、保育・医療・教育・障害等、分野にとらわれず、様々な研修等参加により知識向上等に取り組み、日常業務内における相談員同士の会話などコミュニケーションを心掛けることで、新たな気づきを促したり、知識等の共有を行なうとともに、相談員同士のコミュニケーションが活発化することで、感染症等により職員不在の状況でも応援しあう事が出来、継続した事業を行うことが出来た。

支援内容内訳						
福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援
595	123	243	165	24	123	50

支援内容内訳				
生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
98	119	5	7	18

2 利用状況

(1) 障害者相談支援事業 相談支援方法

	令和4年度 合計	令和3年度 合計
電話・来所	1,197	309
訪問	157	43
合計	1,354	352

(2) 特定相談支援事業 障害児相談支援事業

	令和4年度 合計	令和3年度 合計
サービス利用支援	320	256
継続サービス利用支援	785	613
合計	1,078	869

(3) 障害児等療育支援事業

ア 事業実施数

	令和4年度 合計	令和3年度 合計
在宅支援訪問療育指導事業	62	81
在宅支援外来療育指導事業	0	0
施設支援一般指導事業	20	26
合計	82	107

イ 派遣専門職

	臨床心理士	言語聴覚士	作業療法士	理学療法士	保育士	音楽療法	歯科衛生士	公認心理師	社会福祉士	その他
始良市	2	7	6	9	1	1	1	2	1	5

3 療育支援事業・会議・研修等実施状況

月	会議等	研修等
4	○始良市相談支援部会	○就学に関する説明会
5	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○障害児等療育支援連絡会議	○鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会及び研修 ○鹿児島県ファシリテーター研修
6	○始良市相談支援部会 ○始良市放課後等デイサービスグループ会議 ○始良市子ども部会 ○第1回始良市特別支援連携協議会	○知的障害児(者)関係施設新任職員研修会
7	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○始良市地域自立支援協議会 ○始良市児童発達支援グループ会議	○ふくし学習会オンラインセミナー

	○障害児等療育支援事業連絡会議	
8	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○始良地区福祉施設・支援機関等事業説明会 ○あいらいさ障害者就業・生活支援センター連絡会	○鹿児島県重症難病医療ネットワーク研修会 ○小児訪問看護研修会 ○鹿児島県相談支援従事者初任者研修（前期・中期）
9	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○障害児等療育支援連絡会議	○小児訪問看護研修会 ○サービス管理責任者並びに児童発達支援管理責任者更新研修における演習ファシリテーター ○相談支援従事者現任研修（前期・講義） ○鹿児島県相談支援従事者初任者研修（後期①）
10	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○始良市子ども・子育て会議	○始良市子どもの為の支援関係者学習会 ○始良市子ども部会研修会 ○相談支援従事者現任研修（前期・演習）
11	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○障害児等療育支援連絡会議 ○放課後等デイサービスグループ会議	○障害者就労セミナー ○虹の家セミナー ○小児慢性特定疾病児支援研修会 ○サービス管理責任者並びに児童発達支援管理責任者更新研修における演習ファシリテーター ○相談支援従事者現任研修（中期・演習） ○鹿児島県相談支援従事者初任者研修（後期②）
12	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○始良・伊佐地域障害者就労支援ネットワーク会議	○医療的ケア児コーディネーター研修 ○発達障害対応力向上研修 ○鹿児島県社会福祉法人経営者大会 ○施設長等研修会 ○KGSN 始良・伊佐圏域研修会 ○医療的ケア児に関する研修会 ○相談支援従事者現任研修（後期・演習）
1	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○始良市地域自立支援協議会 ○障害児等療育支援連絡会議	○始良市地域自立支援協議会 ○鹿児島県医療的ケア児等受け入れ体制構築促進セミナー ○喀痰吸引研修 1・2号 ○ピアサポーター研修
2	○始良市子ども部会 ○始良市子ども・子育て会議 ○始良市特別支援連携協議会 ○保育所等への支援に関するネットワーク会議	○医療的ケア児に関する研修会 ○鹿児島県重症難病医療ネットワーク研修会 ○始良市地域自立支援協議会 専門部会合同研修会 ○喀痰吸引研修 1・2号 ○ピアサポーター研修 ○九州地区知的障害者福祉協会種別部会合同研修会
3	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○障害児等療育支援連絡会議 ○始良市地域自立支援協議会専門部会部会長会	○医療的ケア児コーディネーター養成研修 ○小児在宅医療推進研修会 ○喀痰吸引研修 1・2号

X 保健看護分野

1 評価

＜日常の健康管理＞

- ① 重度高齢化が進み、今までに基礎疾患を患っていない利用者の急変などが見られた。健康診断の結果だけにとどまらず、引き続き日々の健康状態の把握に努めていく
- ② 感染症対策を徹底しているためか、インフルエンザ・感染性胃腸炎の流行はなかった。引き続き、感染症対策の徹底に努めていく。

＜新型コロナウイルスの対応について＞

令和4年度が始まり、さちかぜ内で3回のクラスターが発生。利用者の重症化は見られなかったが、保健所からの指導のもと入浴時などの防護服着用 of 徹底に努めていく

2 健康状態

(1) 検診一覧（さちかぜ 対象利用者 74名）

年	月	日	対象者	受診者	検査内容	実施医療機関
2022	4	28	62	61	内科検診	内倉医院
	6	16	67	63	水虫検診	前田皮膚科
	8	25	37	32	新型コロナワクチン接種4回目	内倉医院
	9	1	32	32	新型コロナワクチン接種4回目	内倉医院
	9	14	32	29	マンモグラフィ・乳房エコー・子宮がん	県民総合保健センター
	10	20	72	71	集団健診（検尿血圧・採血・心電図・腹部エコー・胸部レントゲン・診察）	県民総合保健センター
	10	27	38	36	インフルエンザ予防接種	内倉医院
	11	10	34	34	インフルエンザ予防接種	内倉医院
2023	2	16	38	33	新型コロナワクチン接種5回目	内倉医院
	2	25	35	35	新型コロナワクチン接種5回目	内倉医院

*水虫検診の結果41名が軟膏治療中

*女性検診3名保護者の同意が得られず未実施

*インフルエンザ予防接種1名入院中のため未接種、1名保護者の同意が得られず未接種

*集団検診1名入院中のため未実施

*新型コロナワクチン接種4回目1名入院中、2名保護者の同意が得られず未接種、2名接種期間の関係で今回は未接種

*新型コロナワクチン接種5回目3名保護者の同意が得られず未接種、2名は4回目で終了

検診一覧（満天ハイツ 対象利用者 35名）

年	月	日	対象者	受診者	検査内容	実施医療機関
2022	6	16	35	35	水虫検診	前田皮膚科
	8	25	19	18	新型コロナワクチン接種4回目	内倉医院
	9	1	17	17	新型コロナワクチン接種4回目	内倉医院
	9	14	20	19	マンモグラフィ・乳房エコー・子宮がん	県民総合保健センター
	10	20	33	33	集団健診（検尿血圧・採血・心電図・腹部エコー・胸部レントゲン・診察）	県民総合保健センター
	10	27	15	14	インフルエンザ予防接種	内倉医院
	11	10	18	18	インフルエンザ予防接種	内倉医院
2023	2	16	16	14	新型コロナワクチン接種5回目	内倉医院
	2	25	19	19	新型コロナワクチン接種5回目	内倉医院

*水虫検診の結果24名が軟膏治療中

*4回目新型コロナワクチン、1名3回目未接種にて対象外

*マンモグラフィ検査1名病院の定期検査を受けているため未実施

*インフルエンザ予防接種，1名保護者の同意が得られず未接種

*新型コロナワクチン接種5回目，2名は満天入所時接種済

(2) 内服者数 (さちかぜ)

対象者	2021年度	2022年度
男子利用者	30	37
女子利用者	27	34
合計	57	74

内服者数 (満天ハイツ)

対象者	2021年度	2022年度
男子利用者	10	6
女子利用者	17	14
合計	27	20

(3) 通院診療状況 (令和4年4月～令和5年3月)

診療科目	男性	女性	合計	精神科	97	260	357
脳外科	41	19	50	神経内科	9	10	19
内科	187	198	385	婦人科		10	10
外科	32	42	74	形成外科		11	11
整形外科	16	53	69	呼吸器科	1	4	5
歯科口腔外科	319	373	692	耳鼻咽喉科	16	15	31
循環器科	50	56	106	眼科	6	18	24
泌尿器科	55	11	66	皮膚科	22	16	38

(4) 入院状況 (令和4年4月～令和5年3月)

利用者名	病名	入院期間	病院
女性I	新型コロナ陽性	4月14日～4月25日	始良病院
女性I	新型コロナ陽性	4月15日～4月25日	青雲会
男性H	新型コロナ陽性	4月15日～4月25日	青雲会
女性M	新型コロナ陽性	4月19日～4月28日	青雲会
女性H	新型コロナ陽性	4月26日～5月7日	始良病院
女性H	新型コロナ陽性	4月28日～5月7日	青雲会
女性M	新型コロナ陽性	4月28日～5月7日	青雲会
男性I	新型コロナ陽性 絞扼性イレウス	4月28日～6月2日	米盛病院
男性H	感染性腸炎	4月28日～5月6日	加治木温泉病院
男性T	外傷性くも膜下出血	5月9日～5月26日	大井病院
男性I	手術後のリハビリ目的	6月2日～7月2日	青雲会
男性H	イボ痔	7月21日～7月28日	鮫島病院
男性K	新型コロナ陽性	9月14日～9月22日	青雲会
男性K	新型コロナ陽性	9月14日～9月24日	青雲会
男性U	新型コロナ陽性 虚血性腸炎	9月22日～10月4日	霧島医療センター
男性Y	てんかん・意識障害	9月29日～9月30日	青雲会
女性I	新型コロナ陽性	12月28日～1月6日	青雲会
女性K	新型コロナ陽性	12月28日～1月8日	始良病院
男性T	S状結腸捻転	1月28日～2月3日	南風病院
女性D	硬膜下血種	2月6日～2月14日	青雲会

男性 T	S 状結腸捻転	3月3日～3月23日	青雲会
女性 I	気管支炎	12月28日～1月6日	青雲会
男性 I	結石性急性腎盂腎炎	1月13日～1月25日	青雲会
男性 I	尿管結石・水腎症	3月28日～4月11日	青雲会

(1) 検診一覧 (GH晴町 対象利用者 16名)

年	月	日	対象者	受診者	検査内容	実施医療機関
2021	10	7	16	16	内科検診	内倉医院
	10	13	10	8	マンモグラフィ・乳房エコー・子宮がん	県民総合保健センター
	10	13	16	16	骨粗鬆症検診 (2年に1回)	県民総合保健センター
2021	10	28	16	16	集団健診 (検尿血圧・採血・心電図・腹部エコー・胸部レントゲン・診察)	県民総合保健センター
	11	25	16	16	インフルエンザ予防接種	内倉外科医院
2022	3	3	16	16	新型コロナワクチン接種 3回目	内倉医院

*女性検診2名保護者の同意が得られず未実施

(2) 内服者数 (GH晴町)

対象者	2021年度
男子利用者	5
女子利用者	9
合計	14

(3) 入院状況 (令和3年10月～令和4年3月)

利用者名	病名	入院期間	病院
女性 H	出血性貧血	10月11日～10月19日	青雲会病院
女性 K	誤嚥性肺炎	10月23日～11月17日	青雲会病院
女性 S	肺炎	11月4日～11月22日	大井病院
男性 K	骨盤骨折	11月10日～11月18日	鹿児島大学病院
男性 K	骨盤骨折 (鹿大からの転院)	11月18日～12月27日	大井病院
女性 H	左大転子部褥瘡	11月22日～12月23日	青雲会病院
女性 H	てんかん発作	R4. 3月29日～4月7日	大井病院
女性 S	誤嚥性肺炎疑	R4. 3月30日～4月18日	大井病院